

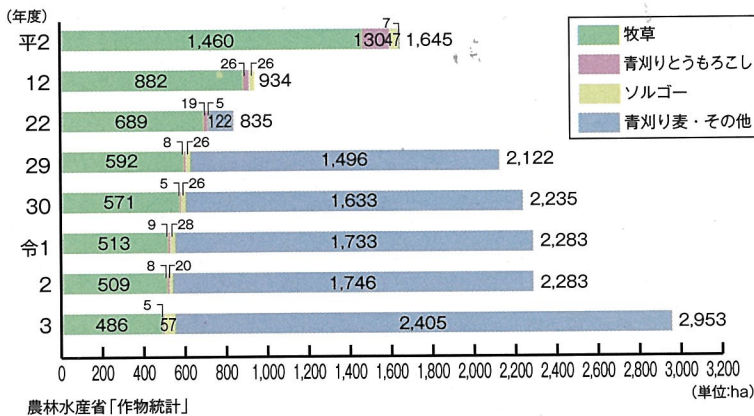
II 草地と飼料

1. 近年の動向

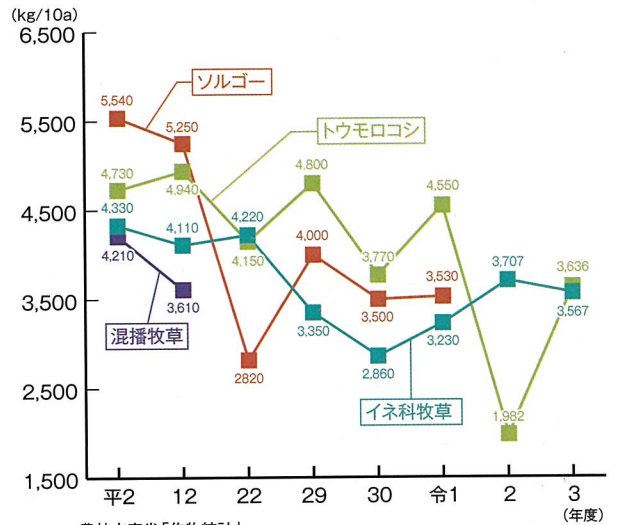
本県の飼料作物生産は、90%超を転作田に依存している。

飼料作物作付面積は、水田フル活用に向け、ソルゴー類などの高栄養長大作物の作付推進や二毛作の普及定着等により拡大に努めている。また、近年、稲発酵粗飼料及び飼料用米（その他飼料作物）の作付面積は、国の制度の見直しなどにより拡大し、作付は定着しつつある。

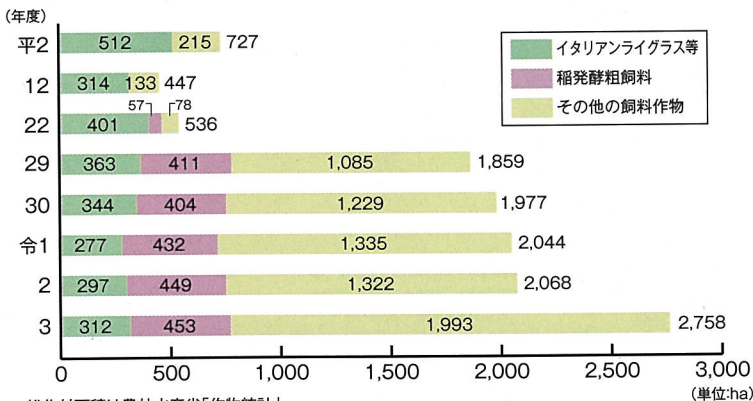
(1) 飼料作物の作付面積



(2) 飼料作物の収穫量



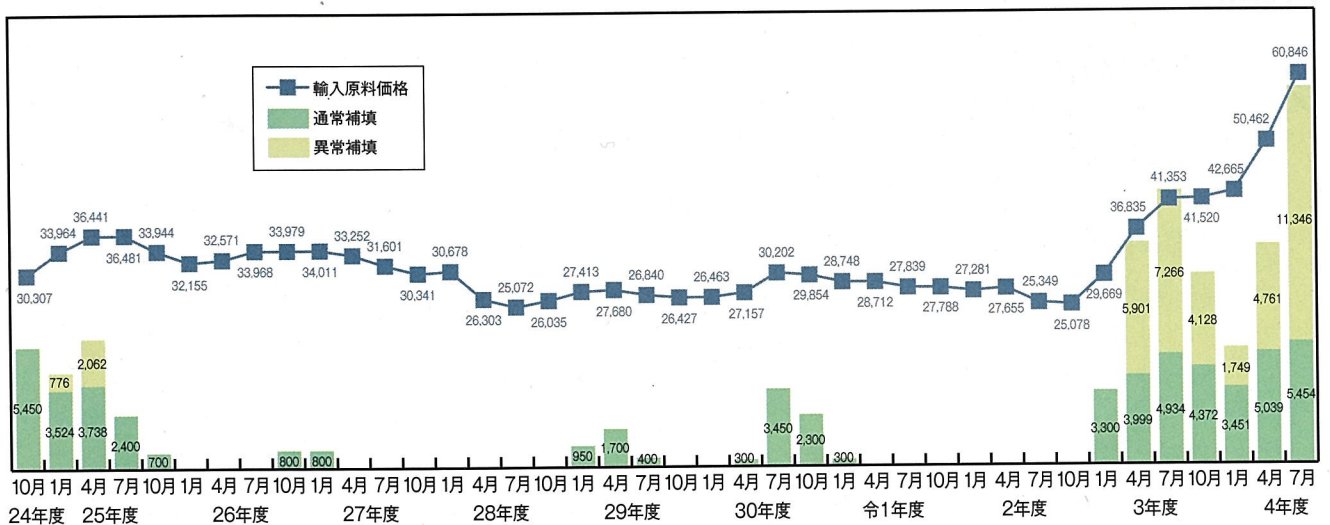
(3) 転作飼料作物の作付面積



WCS調整収穫専用機による収穫

総作付面積は農林水産省「作物統計」
 転作面積は、S60～H15は農産食品課調べ、H19～は農林水産省「作物統計」
 平成29年度以降、作物統計調査は3年ごととなっているため、H30年度の数値は
 産地交付金実績値および広域普及指導センター調査データを参照

(4) 輸入原料価格の推移と配合飼料価格安定制度の補填の実施状況



注:数値は速報値。 資料:財務省「貿易統計」、(公社)配合飼料供給安定機構「飼料月報」